

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：平成30～令和5年度)

実施機関：徳島大学（総括責任者：野地 澄晴）

共同実施機関：香川大学、愛媛大学、高知大学、鳴門教育大学、徳島県立工業技術センター
徳島県立農林水産総合技術支援センター、アオイ電子株式会社、協和株式会社

取組の概要

本事業では、これまでに形成した女性研究者支援や四国5大学連携事業を基盤に、四国5国立大学、徳島県立工業技術センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター、アオイ電子株式会社、協和株式会社が持つ知と技を結集し、女性研究者活躍推進に向けた以下の目標を達成する。

1. 研究力の向上を図り、共同研究等を通して活躍の場を広げ、研究モチベーションを高め、安定的な研究の実施を支援することにより、女性研究者にとって魅力的な大学・職場・地域にする。
2. 女子学生の裾野拡大、博士課程進学から就職等キャリアパス支援、計画的な採用と上位職への登用推進により、女性研究者の採用・在職・上位職の比率を高める。
3. 既に構築しているライフイベントと研究の両立支援を検証しつつ実施機関にも広げ、研究と生活の調和を図る。

これら取組により、女性の挑戦力を高め、地域の未来を牽引する研究の促進や、女性研究者の量的拡大と質的向上が期待できる。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

「四国ダイバーシティ推進委員会」を創設し、四国地域の5つの国立大学法人、2つの公設試験研究機関、2つの企業から成る産官学連携体制を構築し、四国地域の女性研究者の活躍を推進する基盤を整備したことは評価できる。学術系クラウドファンディングを活用した外部資金獲得支援、女性教員の上位職登用を図る「AWA(OUR)サポートシステム女性研究者プロジェクト」、研究者カップルの雇用を支援する「Dual Career 支援制度」などそれぞれの機関の特徴を生かした実効性の高い取組が広く連携機関全体で共有され、女性研究者の研究力向上、上位職やマネジメント層への積極登用などの成果が挙げたことは評価できる。今後は、全ての連携機関において十分な取組の成果が挙がるよう、代表機関のリーダーシップのもと、連携機関全体として女性研究者の採用を積極的に進め、また、産官学連携体制を更に発展させ四国地域における女性研究者の活躍促進を牽引することを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性研究者の研究力向上、研究と生活の調和、在職比率、上位職登用に係る目標を達成したことは評価できる。今後は、連携機関全体として女性研究者の採用を増加させることを期待する。

- **取組**：「ダイバーシティ推進共同研究制度」を創設し、女性研究者を研究代表とする 58 件の共同研究を支援し、優れた研究成果の創出に繋げるとともに、研究交流発表会を開催し、研究成果の発信、女性研究者の交流を図ったことは評価できる。さらに、学術系クラウドファンディングを介して女性研究者が研究資金を調達することを支援する取組、女性教員の上位職登用を図る「AWA(OUR)サポートシステム女性研究者プロジェクト」、研究者カップルの雇用を支援する「夫婦帯同雇用制度」や「Dual Career 支援制度」等、各機関の特徴を生かした多様な取組が広く連携機関全体で共有されたことは高く評価できる。
- **取組の成果**：「ダイバーシティ推進共同研究制度」をはじめ実効性の高い取組を連携機関全体で共有し女性研究者の研究力を強化することにより、科研費新規採択率の上昇、外部研究資金獲得の促進、上位職やマネジメント層への女性の積極的な登用等、連携機関それぞれが一定の成果を挙げたことは評価できる。今後は、各機関の優れた取組を連携機関のみならず、四国地域の企業等他機関へ広く普及させ高い波及効果を及ぼすことを期待する。
- **実施体制**：代表機関の学長のリーダーシップの下、連携 9 機関で構成される「四国ダイバーシティ推進委員会」を創設し、四国地域の 5 つの国立大学法人を中心とした強固な連携体制を構築したことは評価できる。連携する 9 機関が、協働して女性研究者の活躍を促進しており今後の展開が期待できる。
- **今後の進め方**：補助期間終了後も代表機関を中心とした密接な連携体制を維持するとともに、一定の自主経費を確保し、取組を継続、発展させていく計画であり評価できる。今後は、四国地域の企業等の新たな参画を積極的に進め、四国地域における連携をより一層強化することを期待する。